

尾道は、細く長い尾道水道に面し、江戸時代には、北前船が立ち寄る港のある町として活気づいた港町です。今でも、山には細い坂道伝いに続く古い街並みと、海沿いには、尾道水道や遠くはしまなみ海道といった風景を育むまちです。

尾道港は、ＪＲ尾道駅に近接しており、利便性に優れた港となっており、このような立地条件を活かし、市民や観光客に開かれた親水空間と賑わいの創出の場として整備されています。

尾道観光協会は、以前から千光寺公園春山ライトアップをはじめ、天寧寺・西國寺・浄土寺のライトアップ等尾道の夜景を演出してきました。

そのノウハウを尾道港にも活かし、対岸の造船所関連施設のクレーンをライトアップすることで尾道水道に新たな魅力を提供しています。

さらに、尾道灯りまつりでは、港湾緑地などをろうそくやぼんぼりの明かりで照らし出すことで幻想的な情緒を醸し出し古い港町に新しい賑わい、魅力を創出しています。

また、活動は港全体に拡がっており、港湾緑地や古い港湾倉庫などを活用した多様なイベントや住民が積極的に参加したシーサイドラインの整備・維持活動を通し、市民や観光客のために観光交流拠点機能の強化を図っています。



所在地 広島県尾道市西御所町、東御所町

活動内容 尾道みなと祭り（4月下旬）
尾道水道クレーンライトアップ（毎休日前夜）
尾道灯りまつり（10月上旬）
おのみち大骨董祭（毎月第1土・日曜日）

